



夜中に高熱が
出ました。



夜中に、赤ちゃんが生まれて初めて高熱を出すのは、大変心配な出来事です。しかし、子どもにとってはごく普通のこと。慌てず、まず熱を計りましょう。わきの下で計る時は、汗を拭いてから。2、3回計っていずれも37.5度以上あれば熱です。

熱が急に上がるときに最も心配なことは、けいれんです。ただし、けいれんはまれにしか起こりません。もし起こったら、慌てないで、顔を横にしてしばらく様子を見てください。通常は数分で止まります。

5〜10分以上続くとき、繰り返し起きれば救急車を。熱が高いと、心臓がどきどきする、呼吸が早くなる、元気がなくなる、機嫌が悪くなるなどがあります

が、水分を与えれば飲む、あやせば笑う、周囲のものに

夜中の高熱・・・慌てずに、よく様子を見て

興味を示すなど、普段とあまり変わらないときは慌てることはありません。

熱の高さよりも、ぐったりしていないかなど全身の状態に注意を払うことが重要。抱いてあげる、水分を補給する、汗をかいたら衣服を替える、室温が高ければ涼しくするなどの処置をして様子を見ましょう。

熱は、からだが病気と闘っている証拠です。高い熱が出たからといって重い病気とは限りません。38.5度以上でつらそうに見えるとき、お医者さんから処方された熱冷ましがあれば使ってもよいでしょう。



子育て相談室

う。解熱剤を使うと熱が下がると病気が治ったと思いがちですが、解熱剤は一時的なもので、通常熱は1〜2日続きます。熱

が続いていれば午前中に医療機関の受診を。〈水戸市中丸町の平野こどもクリニック院長・平野岳毅〉